

平成19年度 事務事業評価表			担当	教育委員会 庶務課			内線等	1624
事務事業名	小学校一般運営事業			事業コード	5 . 義務的事業			
根拠法令等	学校教育法			A 法令				

総合計画での位置付け

基本目標	4 . 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育
------	----------------------	-----	------

事務事業の内容

対象（受益者）	各小学校が
手 段	学校一般運営費を執行することによって
想定する成果	小学校教育の充実及び学校環境整備・充実を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
学校一般運営費	134,297千円	120,505千円	118,042千円
学 校 数	13校	13校	13校
児 童 数 (5月1日現在)	4,721人	4,689人	4,682人

成果指標

成果指標名	1校あたりの学校一般運営費	児童1人当たりの学校一般運営費
成果指標の説明	学校一般運営費/学校数	学校一般運営費/児童数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		10,331千円				9,270千円				9,080千円			
成果指標		28,447円				25,700円				25,212円			
事業費	事業費	134,297				120,505				118,042			
	人件費	3,114				3,124				2,354			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	137,411				123,629				120,396			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	137,411				123,629				120,396			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	財政難により各校ごとの予算額は、毎年減少している。特に老朽化している建物の修繕費等がままならない。
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算に見合った成果を挙げている。
事務効率性	2	2	2	2	投入された人員で効率的に実施している。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	6	9	6	9	
施策への貢献度	2	-	3	-	決められた予算内で小学校教育の充実及び学校環境整備・充実を図り学校教育に貢献している。
合計	8	9	9	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	財政的に厳しくなっているが、児童の教育環境を確保し、適正な学校運営をする上で必要である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
今後も各校ごとの予算額の減少が予想されるが、効率的・効果的な予算執行が行われるよう各校を指導していく。
上記改善点の実施状況
学校への指導は予算額が減少している実情を踏まえ毎年行っている。学校側もその状況を認識した上で効率のよい、効果的な予算執行への意識が高まってきている。

今後さらに改善すべき点

常に必要性・重要度の優先順位に応じた予算執行に勤め、効率的・効果的になるようにする。

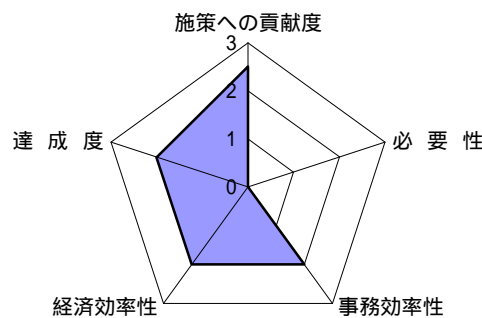
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点